



# 認 定 証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JNLA 認定プログラムの試験事業者として認定する。

認 定 識 別: JNLA Z90119JP Testing

適合性評価機関の名称: 一般財団法人日本建築総合試験所  
試験研究センター 本部

法人の名称: 一般財団法人日本建築総合試験所

適合性評価機関の所在地: 大阪府吹田市藤白台五丁目 8 番 1 号

認 定 範 囲: 2 ページ目以降に記載の 20 区分

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JNLA 認定) に記載した  
認定要求事項

認定発効日: 2 ページ目以降に記載のとおり

認定の有効期限: 2025 年 2 月 17 日

初回認定発効日: 2005 年 2 月 18 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 齊藤和則

- ・ IAJapan(独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター)は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及び APAC(アジア太平洋認定協力機構)の MRA(相互承認取決め)に署名している認定機関です。
- ・ 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
- ・ この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
- ・ IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

試験所名 : 一般財団法人日本建築総合試験所 試験研究センター 本部  
 試験所所在地 : 大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号  
 実施する業務 : 試験、結果の報告及びマネジメントシステム運用(全認定範囲)

<認定範囲>

認定発効日：2021年2月18日					
分野名称	試験する材料又は製品	試験の種類(試験方法の区分の名称)	構成要素、パラメータ又は特性	製品試験等に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	特記事項
土木・建築	建築材料	骨材試験	粒度、微粒分量、単位容積質量・実積率、有機不純物、密度・吸水率、すりへり、安定性、粘土塊量、アルカリシリカ反応性(化学法)、アルカリシリカ反応性(モルタルパー法)、液性限界・塑性限界	試験方法規格 JIS A 1102 JIS A 1103 JIS A 1104 JIS A 1105 JIS A 1109 JIS A 1110 JIS A 1121 JIS A 1122 JIS A 1134 JIS A 1135 JIS A 1137 JIS A 1145 JIS A 1146 JIS A 1205	-
				これを引用する規格 JIS A 5001 5.2、5.3、5.4及び5.5 JIS A 5002 5.6、5.7、5.8、5.9、5.10、5.11及び5.13 JIS A 5005 6.2、6.3、6.4、6.5、6.6、6.7及び6.8 JIS A 5011-1 6.3 a)、6.3 b)、6.4、6.5及び6.6 JIS A 5011-2 6.2.2 a)、6.2.2 b)、6.2.3、6.3.1、6.3.2及び6.4 JIS A 5011-3 6.2.2、6.2.3、6.3.1、6.3.2及び6.4 JIS A 5011-4 6.3 a)、6.3 b)、6.4、6.5及び6.7 JIS A 5015 7.4、7.6、7.7及び7.8 JIS A 5021 7.7 JIS A 5031 6.3、6.4、6.5、6.6、6.7及び6.8 JIS A 5308 附属書AのA.10 a)、A.10 b)、A.10 c)、A.10 d)、A.10 e)、A.10 f)、A.10 g)、A.10 h)、A.10 i)、A.10 j)、A.10 k)、A.10 n)及びA.10 o)	-
				試験方法規格 JIS A 1106 (ただし、供試体の作製を除く) JIS A 1108 (ただし、供試体の作製及び附属書Aを除く)	-
				これを引用する規格 JIS A 1107 7 JIS A 5002 5.14 f) JIS A 5308 10.2.1及び10.2.2 JIS A 5371 附属書AのA.6.1、附属書BのB.6.1、附属書CのC.6.1及び附属書DのD.6 JIS A 5372 附属書AのA.7.1、附属書BのB.7.1、附属書CのC.7.1、附属書DのD.7.1、附属書EのE.7.1、附属書FのF.7.1及び附属書GのG.7.1 JIS A 5373 附属書AのA.7.1、附属書BのB.7.1、附属書CのC.7.1、附属書DのD.7.1及び附属書EのE.7.1 JIS A 6204 6.2.7 e) JIS A 6205 5.3.6 d) JIS A 6511 9.2	-
				試験方法規格 JIS A 1129-1 JIS A 5208 5.2 JIS A 5422 7.3 JIS A 5423 6.2	-
		コンクリート・セメント等無機系材料強度試験	曲げ強度、圧縮強度		
		形状・寸法・質量・密度試験	長さ変化率、寸法		
		石灰・セメント・ガラス化学分析試験	塩化物イオン濃度	試験方法規格 JIS A 5002 5.5	
		水特性試験	吸水率・透水性・含水率	試験方法規格 JIS A 5208 5.4	

分野 名称	試験する 材料又は 製品	試験の種類(試 験方法の区分 の名称)	構成要素、パ ラメータ又は 特性	製品試験等に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	特記 事項
(続き)	(続き)	(続き)	(続き)	JIS A 5422 7.4及び7.10 JIS A 5423 6.4及び6.6	
		吸音・遮音試 験	吸音率、遮音性	試験方法規格 JIS A 1409 JIS A 1416 これを引用する規格 JIS A 4702 9.10 JIS A 4706 9.8 JIS A 6301 7.2 JIS A 6504 7.3.2 JIS A 6506 7.3.2 JIS A 6512 8.2.2	-
		ボード類強度 試験	曲げ・衝撃	試験方法規格 JIS A 1408 JIS A 5208 5.3 JIS A 5422 7.6 JIS A 5423 6.3及び6.7 これを引用する規格 JIS A 5422 7.5	-
		材料断熱性試 験	熱抵抗、熱伝 導率	試験方法規格 JIS A 1412-2 これを引用する規格 JIS A 5905 7.19 JIS A 5908 7.22 JIS A 6901 7.12 JIS A 9504 6.4 JIS A 9510 6.10 JIS A 9511 6.7 JIS A 9521 6.7 JIS A 9523 6.3 JIS A 9526 6.2.6	-
		気密・水密・ 耐風圧試験	水密性、耐風 圧性、気密性	試験方法規格 JIS A 1414-3 5.7 JIS A 1515 JIS A 1516 JIS A 1517 これを引用する規格 JIS A 4702 9.7、9.8及び9.9 JIS A 4706 9.4、9.5及び9.6 JIS A 6504 7.3.3 JIS A 6509 7.3.3	-
		建築構成部材 衝撃・硬さ・ 弾力試験	耐衝撃性	試験方法規格 JIS A 1518 これを引用する規格 JIS A 4702 9.6	-
		床衝撃音・床 鳴り防止性試 験	衝撃音遮断性	試験方法規格 JIS A 1418-1 これを引用する規格 JIS A 6506 7.3.3	-
		耐凍害性試験	耐凍害性	試験方法規格 JIS A 5208 5.5	-
		機械的耐久性 試験	開閉繰返し	試験方法規格 JIS A 1530 これを引用する規格 JIS A 4702 9.5	-
		金属系材料・ 部品等強度試 験	ねじり強さ、 鉛直荷重強さ	試験方法規格 JIS A 1523 JIS A 1524 これを引用する規格 JIS A 4702 9.2及び9.3	-
		接着剤等接着・ はく離試験	密着性	試験方法規格 JIS A 5422 7.7	-

分野 名称	試験する 材料又は 製品	試験の種類(試 験方法の区分 の名称)	構成要素、パ ラメータ又は 特性	製品試験等に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	特記 事項
(続き)	(続き)	ホルムアルデ ヒド放散性試 験(デシケータ 法)	ホルムアルデ ヒド放散量	試験方法規格 JIS A 1460 これを引用する規格 JIS A 5905 7.18 JIS A 5908 7.14	-
化学品	化学製品	高分子引張試 験	引張強度、ひ ずみ	試験方法規格 JIS K 7161-1 JIS K 7161-2 JIS K 7165 これを引用する規格 JIS K 6719-2 表3 JIS K 6919 5.3.5 JIS K 6920-1 3.5.3 JIS K 6921-2 表3 JIS K 6922-2 表3 JIS K 7011 5.2及び5.3(1)	-
鉄鋼・ 非鉄 金属	鉄鋼・非 鉄金属	金属材料引張 試験	引張強度、降 伏点、伸び、 絞り	試験方法規格 JIS Z 2241 これを引用する規格 JIS A 5523 10.2.3 a) JIS A 5526 8.2.3 JIS A 5528 8.2.3 JIS G 3101 8.2.5 a) JIS G 3106 10.2.5 a) JIS G 3108 10.2.3 JIS G 3112 10.2.2 b) JIS G 3117 10.2.2 JIS G 3123 8.3 a) JIS G 3137 9.3.1 JIS G 3444 9.2.3 b)	-
		金属材料曲げ 試験	曲げ	試験方法規格 JIS Z 2248 これを引用する規格 JIS G 3117 10.2.3	-

認定発効日：2021年3月17日

分野 名称	試験する 材料又は 製品	試験の種類(試 験方法の区分 の名称)	構成要素、パ ラメータ又は 特性	製品試験等に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	特記 事項
土木 ・ 建築	建築材料	溶液中の塩化 物イオン量試 験(電位差滴	塩化物イオン 濃度	試験方法規格 JIS K 0113 5. これを引用する規格 JIS A 1144 4 c) JIS A 5308 附属書AのA.10 p)	-

備考：認定の区分は、官報及び認定機関のホームページ等で公表された最新版の区分表が適用される。

(以上)